

第103号



輪中の郷 おたっしや通信

社会福祉法人 弥富福社会

特別養護老人ホーム 輪中の郷
指定居宅介護支援事業所 輪中の郷
デイサービスセンター 輪中の郷
弥富市デイサービスセンター
弥富市南デイサービスセンター

〒498-0039
愛知県弥富市大藤町5番地3
TEL (0567) 65-5531
FAX (0567) 65-5536
E-mail info@yatomifukushikai.com
URL http://yatomifukushikai.com



新年のご挨拶

理事長 山田 耕二

明けましておめでとうございませう。

社会福祉法人「弥富福社会」に、関係されています皆様方に、スタッフ一同と共に、今年も新年を迎えられたお喜びを申し上げます。昨年は、なにおいでも新年早々から、ほぼ一年中にわたり、中国湖北省武漢市から世界中に感染拡大した、新型コロナウイルス(COVID-19)の猛威でありました。

一説には、もうその前の年の12月から、蔓延していたとも伝えられています。人類が今迄に体験したことのない、最悪の世界的蔓延(パンデミック)に脅かされまして。なぜか北朝鮮は、感染者皆無と発表していましたが、全世界と申し上げても過言ではないくらい、WHO(世界保健機関)加盟国、約200か国近くの国々に、ほんの数か月でアツという間に広がってしまいました。

コロナウイルスは普通感冒(風邪)の、エコーウイルス・コクサツキウイルスや、アデノウイルス等の一種で、今回の型は似ている

ものの、内容は良性と悪性のよう、大きな違いがありますから、あえて「新型コロナウイルス」(COVID-19)と、医療従事者やマスコミではそう呼ばれてきています。新型と呼ばれるだけに、治療薬やワクチンが出来ていない時点でしたから、その感染者や死者は、途方もなく増えていったわけで、アメリカやヨーロッパ諸国、また南アメリカやアフリカ大陸及び医療体制が十分でない国々に、数か月もしないうちに感染拡大してしまいました。

日本では昨年2月、横浜港に停泊した大型豪華クルーズ船(ダイヤモンド・プリンセス)から、またたく間に、東京都や神奈川県や北海道、そして日本国中に広がって行くさまは、どうすることも出来ず、ただ茫然と成り行きを見守るのみでした。その後、東京都から「感染爆発重大局面」が発進され、4月には政府から国家の「緊急事態宣言」が発出され、さらには13都道府県に「特定警戒都道府県」が発表されて、愛知県は全国感染者数ベスト10に入っていました。県

境をまたぐ外出も自粛せよとのお達しでありましたから、当然国内外の旅行も、外国人のインバウンドも無く、きわめて閑散としたコロナ禍の日本になっていきました。

日本国中は、有名人などの連続死亡で、この新型コロナウイルスの怖さに震撼して、一旦は収まりかけたものの、昨年8月頃第二波が押し寄せました。さらに11月末頃には、第一波の3月頃から段々と大きくなってきた第三波が、急速にやって来て、フランスやイタリアでは、2回目のロック・ダウンに近い発令が出されて、収まりかけた国と、ぶり返してきた国とが、行ったり来たりで、振り子現象の如くいつまでたっても、残念ながら今のところ収束(本意は終息とか終結です)する気配は見つからず、医療専門家は医療崩壊寸前で、第三波が収まっても、さらにまた今年第四波が来ると注意喚起を行っています。

この新型コロナウイルスは、感染していても発症しない方もいます。さすし、重篤になる人もいます。さらに治癒したと思われても後遺症に悩まされる方も多いと報道されています。ですから、対応の仕方も手指の消毒やうがい、ソーシャルディスタンスを保つたり、マスク着用、三蜜を避ける、県を跨いでの

外出は避ける他は、手立てのしようがありません。

当輪中の郷の利用者様は、免疫力や抵抗力の少ない高齢者で、なかには持病を持った方もおみえです。絶対には感染者を出してはいけません。全職員は一昨年前のインフルエンザ感染防止対策に輪をかけて、大袈裟ではありませんが、厳戒態勢を敷いて、施設内全箇所消毒と利用者様と職員の、手洗い・うがいを半強制的にやっています。ただ、出勤時には手指の消毒、体温測定して、異常のない者だけが出勤して頂きます。個人的にも外出を自粛して頂き、入居者様にご迷惑をお掛けして大変なことになっています。日々の私生活にも神経をすり減らして、戦々恐々、薄氷を踏む思いで、政府の終結宣言までは、ストレスのまま生活を余儀なくされています。

施設利用者様には、昨年2月23日から、面会制限をさせていただきまして、利用者様やそのご家族様には、リモート面会などで、不自由をお掛けいたしていますが、治療薬やワクチンが開発されるまで、もうしばらく御辛抱願わねばなりません。また、各団体様の慰問や昨年4月の桜花見、8月の夏祭り、10月地元中山地区のドンチ

キチンの秋祭り、年末J A様支援の餅つき、毎月25日のニコニコサロンの外出催し等は、感染予防対策として、中止せざるを得ませんでしたので、楽しみにしてみえた方には本当に心苦しく思います。

私もご年配の方も、きつとそうと思いますが、無症状の感染者(沈黙の隠れた保菌者)から、いつ感染するか心配されましたので、昨年ほど手洗いや手指の消毒、マスクの着用を強いられたのは、生まれて初めてのことがと存じます。外出時は必ずマスク着用、到着先ではまず各所数回のアルコール消毒、所によっては検温、三蜜を避ける、対面長話無用、接近注意(濃厚接触禁止、ソーシャルディスタンス保持)、物に触れない、帰宅して手洗い・うがい・洗顔(ぬれタオルで顔ぬぐい)等、今までにないほどの神経を使われたと思います。個人的には十分な睡眠時間確保、寒風に長時間さらされないように注意と完全な保温、三度の食事の栄養バランス、そして深酒厳禁等々。このように、マニュアル以上の注意をしていますが、どこでどのような感染ルートか皆目分からない、本当に厄介で困った新型コロナウイルスです。自覚症状が、少しでも日常と違った発熱など出ましたら、「早期発

見早期治療」「傷は浅いうちに治せ」の如く、すぐに医療機関の指示に従っていただき、少しでも感染拡大阻止に協力して戴きたく存じます。

この他、昨年は日本や世界で情勢が大きく変わったことが、幾つかありました。

アメリカでは、国を分断するほどの大統領選挙が有りました。そしてトランプさんが敗北をなかなか認めない中、バイデン大統領が誕生いたしました。

日本国内では、安倍首相の病氣理由の退陣で、北朝鮮による拉致問題、ロシアとの北方四島領土問題、中国との尖閣諸島問題、韓国とは慰安婦や世界各地への慰安婦像設置問題や徴用工問題、竹島領有権等々どれを取っても超難題が残されたまま、菅内閣に代わっていきました。今後どうなるか、明るい兆しは見えていませんが、日本国民がいち早く納得できる解決を願っています。

自然災害では、昨年もまた九州に、地震と台風豪雨被害が重なって、熊本県球磨川が氾濫して障がい者施設が、まるごと流されてしまいました。お亡くなりになられました方に心からお悔やみを申し上げます。私事で大変恐縮ですが、2019ラグビー・ワールド

カップ熊本観戦の折、もの悲しい歌詞の五木の子守唄の発祥地を、レンタカーで訪ねました。この山奥に流れる川沿いに、「あん人たちゃー、よかしゅー。盆がはよくりや、はよ戻る」・・・の石碑があります。まさにこの球磨川に沿って車を走らせたので、ことのほか身に染みました。このように毎年全国のどこかで、大きな被害を受けられますと大変心が痛みます。甚大な被害が少しでも無くなる様祈るのみです。今年こそ平和で災害の無い年にしていきたいものです。

更には、前例のない学校の休校、東京オリンピック・パラリンピックの一年延期を始め、高校野球、高校総体、プロ野球、大相撲等の無観客試合等、今までに経験したことのない災厄を強いられました。

明るいニュースでは、大相撲の「正代関」が、昨年9月場所東京で優勝しました。時津風部屋力士は、ここ13年くらい前から、名古屋場所時に輪中の郷へ慰問に来て頂いていまして、例によって正代関に「お姫様だっこ」されたり、「ツーショットの記念写真撮影」を何名かの方はされました。正代関が大関から横綱昇進となると、お宝の写真となりますから、大事に

保管していただきたいと存じます。このような異例の昨年、念願の障がい者グループホーム「わじゅうの家結い」が、国・県と弥富市及び、地元中山川原欠地区の皆様のお力添えのお陰で、完成いたしました。

新型コロナウイルス感染症防止対策の一環として、開所が少し遅れ、関係機関の皆様にはご心配をお掛けしお詫び申し上げます。

また、設立開所に当たり、戸惑いとか不安といった、お言葉も頂戴いたしておりましたが、障がいを持たれた方への、深いご理解やご協力を切にお願い致します。「わじゅうの家結い」の利用者様にも、従来同様に、真心を込めて寄り添った対応をさせていただき、精一杯の努力を怠りません。悟でございますので、ご理解のうえご指導やご鞭撻を、戴きますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、海南病院や歯科医師会等の医療関係の方々、民生委員の方々や、JA関係の方々、中山川原欠地区の方々、そしてその他のボランティア活動の皆様方に、理事・評議員を代表いたしまして日頃の感謝を申し上げます。

利用者様やそのご家族様の多くの方々から「暖かい所で、家では

出来ない温かく、柔らかい物を食べさせていただいています」「本当にしあわせです」「お陰様でずいぶん長生きさせてもらっています」等々、こちらが癒されるような感謝や労いのお言葉を頂いてきておりますが、この言葉に甘えること



新春を迎えて

弥富市長 安藤 正明

あけましておめでとうございませう。希望に満ちた輝かしい新春を迎えられたことと、心からお慶び申し上げます。

平素は市政全般にわたり、深いご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、この度、新型コロナウイルス感染症に罹患された方々には謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早いご快復を心よりお祈り申し上げます。

また、最前線で国民の健康福祉に貢献して下さっている医療・介護従事者の方々に心より敬意を表します。そして早急な事態の収束を心より願っております。

昨今は少子高齢化や単身世帯の増加など、福祉を取り巻く社会環

なく、誠心誠意努めてまいりる所存でございます。

今年の丑年が、皆様にとって健康で明るい良い年になりますことを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

境が大きく変化するとともに、そのニーズも複雑かつ多様になっております。

そのような中、貴法人におかれましては、地域に根ざした施設として事業を展開しておられ、本市の高齢者福祉向上に大きくご貢献していただいております。敬意と感謝を申し上げます。

本市におきましては、引き続き医療・介護等の連携、認知症施策の推進、介護予防・日常生活支援総合事業の推進等、地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを推進してまいります。

要支援者等に対して効果的かつ効率的に支援を行うよう、ささえあいセンターでは買物支援サービス事業を始めなど、できる限り住み慣れた所で自立した生活を送

ることができると地域づくりを目指します。

更に、高齢化が進展する社会では、ライフスタイルの変化などにより、ニーズも多様化してまいります。そのニーズに対応していくため、保健・医療・福祉が連携し、質の高い総合的なサービスの提供体制を整備し、「生涯健康、生き活き、住み慣れた地域で安心できるまち やとみ」の実現に向けて邁進してまいります。

また、障がい者支援につきましては、第6期「弥富市障がい者計画」に基づき、障がいのある方が差別なく共生できるまちづくりに向け努力してまいります。

その一つとして、障がいのある方が地域の中で自立した生活ができるよう、海部南部障害者自立支援協議会と協力して、貴法人運営の障がい者グループホーム「わじゅうの家結い」を積極的に支援してまいります。

今後とも市民一人ひとりの幸せ向上を目指してまいりますので、皆様の一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、貴会の益々のご発展と関係各位のご健康とご多幸をお祈りいたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

入居受付開始しました

障がい者グループホーム

わじゅうの家 結い!

弥富市大藤町5番地5
(特別養護老人ホーム輪中の郷東)



○入所定員

10名(男性5名、女性5名)

○入所できる方

障害者総合支援法第19条第1項に規定する支給決定を受けた方で次の項目に該当する方

- ① 身体障害者手帳または療育手帳の交付を受けている方
- ② 満18歳以上の方
- ③ 伝染性疾患のない方
- ④ 日中活動(就労・就労継続支援など)を利用している方
- ⑤ 医療行為(たん吸引・注射・点滴など)を常時必要としない方





わじゅうの家 結い 館内の様子

職員募集しています

グループホームで
皆と一緒に楽しく過ごしませんか？
ある方たちの生活をサポートする、笑顔溢れるやりがいのある仕事です。未経験・無資格の方でも大歓迎です！経験のない方もスタッフが丁寧にお伝えしますので安心です。お気軽にお問い合わせください。

● お問い合わせ先 輪中の郷
Tel 0567-65-5531
担当：伊藤公一、伊藤丈治

●館内フロア配置図



入所者紹介

輪中の郷の新しい家族になられた方々を紹介します。

横井つやさん



10月6日、けやきほーむの住人になりました。

お話しするのが大好きで、周りの住人さんやショートステイのご利用者さんとの会話を楽しみに過ごされています。また、レクリエーションにも活発に参加されています。

毎日の食事もきれいに食べられ、「感謝、感謝します」とよく言葉にされています。

これからも素敵な笑顔と元気いっぱいの姿で、楽しい生活を送って頂きたいと思います。

(上野慶子)

太田隆裕さん



10月12日、いちよう・しらかばほーむの住人になられました。

入所当初は環境が変わったためか、不安そうにされていました。徐々にホームの生活にも馴染んでこられ、他の住人さんとお話しされる姿や、一緒にテレビのグルメ番組を観ながら、「美味しいうだな、食べたいな」と話される姿も見受けられます。

今は外出が難しい時期ですが、落ち着いたら一緒に出かけたいですね。

これからますます寒さが増してきますが、寒さに負けないようしっかりとご飯を食べて、風邪を引かないように過ごしていきましょう。

これからもよろしくお願い致します。(加藤秀斗)

上山光子さん



10月22日、いちよう・しらかばほーむの住人になられました。

こちらから話しかけると優しい笑顔で耳を傾けられ、一緒におしゃべりをした後はいつも「ありがとうね」と、言われ職員を癒してください。

これからもたくさんのお話をし、いろいろな表情がみられるようサポートさせていただきます。

今後寒さが厳しくなってきましたが、体調に気をつけて元気にお過ごしください。

これからもよろしくお願い致します。(鈴木芳樹)

伊藤仁子さん



10月30日、いちよう・しらかばほーむの住人になられました。

当初より職員や同じテーブルの方と笑顔でお話しされています。

また、職員の顔を見ると笑顔で声をかけてくださり、職員一同とても嬉しく思っています。

まだホームの生活に慣れないことも多いと思いますが、しっかりとサポートさせていただきます。

これから更に寒くなりますが、健康に気をつけて元気にお過ごしください。

これからも末永くよろしくお願ひ致します。(伊藤佑里子)



台所の薬草

「お屠蘇」



もとは、中国の三國時代の名医が災難厄除けのために、生薬を調合しお酒に浸して飲んだのが始まりと言われており、日本へは平安時代に伝わりました。

江戸時代の頃には、一般庶民の正月行事として定着していったそうです。

一年の無病長寿を願い、正月に飲む特別なお酒「お屠蘇」。その言葉の由来は諸説あるようですが、いずれも「悪いものを屠って良い物を招き入れる」という部分は共通しています。

最近では、日本酒をお屠蘇代わりに用いる事もあるようですが、地域によって中身が異なる所があります。

関西では日本酒とみりんと屠蘇散を合わせたもの、関東以北では日本酒をそのままが通常になっているようです。他には地元ならではの黒酒(熊本は赤酒、鹿児島は黒酒が使われるなど)の屠蘇散をつけ込むところもあります。

今年のお正月は、一年の無病息災を願って家族でお屠蘇を召し上がってみてはいかがでしょう。

(星野芳江)

手作りおやつ



11月18日、手作りおやつレクを行いました。

月に1回、厨房職員が手作りで行っているのですが、この日はおはぎと羊羹を作りました。普通食や刻み食の住人さんにはおはぎ、ソフト食の住人さんには羊羹を用意し、おはぎはあんこときなこの2種類、羊羹はあんことさつま芋の2種類にしました。

おやつの時間になり、住人さんのところへお持ちすると、「わあー！これどうしたの？」と嬉しそうに驚かれる方や「おいしそう！」と仰ってすぐに召し上がられる方、一口で召し上がられる方、おはぎを目にしてニコニコと笑顔になられる方など、反応は様々でしたが、喜ばれてみえました。

おはぎが少し大きかったかなと思っていたのですが、完食されている方ばかりで、住人さんの笑顔が嬉しかったです。住人さんに声を掛けると、「昔は羊羹を家で作っていたなあ」と話をして下さる方もみえました。また、翌日に「おはぎを食べたいと思っていたの。嬉しかったわー。また楽しみだわ。」と話しかけて下さる住人さんも見え、より一層嬉しく思いました。

これからも住人さんに手作りおやつレクを楽しんで頂けるよう、いろいろなおやつを考えていきたいと思えます。
(伊藤友希)



9月



9月はバウムクーヘンにチョコをコーティングしたお菓子を作りました。

10月



10月は旬の栗を使ったモンブランババロアを作りました。

♥ 新入職員紹介 ♥

伊藤章代



この度、縁あって
昨年10月から輪中の
郷看護師として勤務
しております。

中島亜視つぐみ



以前働いていた職
場はデイサービス
で、高齢の方と一緒
に話したり、リハビ

施設で働くことは初めてなの
で、日々業務に慣れていくことに
精一杯ですが、今までの経験を活
かし、人生の先輩である利用者様
が輪中の郷で安心して楽しく過ご
して頂けるよう、笑顔忘れず気
持ちのよい対応を心がけて接して
いきたいと思ひます。

(輪中の郷看護師)

リの介助・看護を行ってきまし
た。
今年の11月から輪中の郷で働か
せて頂き2か月が経ちましたが、
個々に合わせた看護はもちろん、
他職種の方との情報共有や住人さ
んの家族の方々にもケアが大切だ
ということに気がつきました。
まだまだ覚えることがたくさん
ありますが、周りのスタッフの方
々と協力し、住人さんやその家
族の方々、「輪中の郷で暮らせ
て良かった」と、思っていただけ
のような看護をしていきたいです。

(輪中の郷看護師)



デイサービスセンター輪中の郷

『百寿のお祝い』

当センターでは、12月15日
(火)に百歳を迎えられる、大杉
まさ子さんの誕生日のお祝いを
12月9日(水)に行いました。

昼食のメニューは、好物の
「ねぎとろ丼」を用意しました。
他の利用者様も楽しみにしてい
て、皆様美味しそうに召し上が
っていました。

まさ子さんは一時期、食欲が
落ち心配しましたが、今は食欲
も戻りほとんど食べられるよう
になり安心していきます。また、
とてもチャームングな方でもあ
り職員一同、和ませて頂くこと
がよくあります。

百歳という節目を迎え、激動
の一世紀の間いろいろな苦勞
を乗り越え、お元気に過ごされ
たことは凄いいことと思います。
昨年は、コロナの影響でいろい
ろなことを自粛しなければなら
ない年でしたが、ささやかでは
ありますが百寿のお祝いができ
ました。

これからも、まさ子さんはじ
め皆様が楽しくデイサービスで
ご利用頂きたいと思ひます。

(安田洋子)



弥富市デイサービスセンター

『寸劇 大きなかぶ』

秋も深まり肌寒い日が続く中、朝から晴天でポカポカ陽気の11月3日(火)に「寸劇大きなかぶ」を行いました。

物語はある日、畑にとても大きなかぶが実り、お爺さんとお婆さんが抜くことができず、困り果てている場面から幕開けとなりました。

職員がお爺さんとお婆さんになりきり、かぶを一生懸命引っ張りましたが抜けません。利用者様にも参加して手伝って頂きましたが、大きなかぶはびくともせず・・・そんな時に職員がなりきった牛さん：サンタさん：小学生の女の子：オカマさん：最後には妊婦さんも手伝い、「ウン トコ、ドッコイショ!! ウントコ、ドッコイショ!!」の掛け声に合わせて皆で協力



して引つ張り、やっと抜けました。それは大きな拍手でした。

最初、お爺さんとお婆さんの登場

で、そのクオリティの高さに大爆笑!しかし演技が始まると、その演技力に大きな拍手が上がりました。知らぬ間に利用者様も、この大きなかぶの寸劇に参加しており、最後は皆で協力して成し遂げた達成感で、大きな拍手と感動で幕閉じとなりました。職員も楽しんで頂けるように、役になりきって(想像してください...)大爆笑を頂きました。

今後も皆様が笑顔で楽しく、元気に過ごして頂けるように頑張っていきます。(角田照子)



弥富市南デイサービスセンター

『秋まつり』

11月17日(火)に少し遅い「秋まつり」を行いました。

一か月前より利用者の方と職員で、みこしと獅子を作りで作成し、当日の昼食はちらし寿司とまつりらしいメニューで、「珍しい、美味しい」と喜んで頂けました。

午後から「秋まつり」スタートです。まずは、職員でみこしを担いで、各テーブルまで「ワッショイ!ワッショイ!」と威勢よく回ります。

その後は獅子を被った職員が、皆さんの頭をパクパクと元気でいてほしいとの願いを込めて回ってくれました。

最後は、ひよつとこのお面をつけた職員が、いつもは踊りなごしません今日は特別。少しごちなかつたですが、皆さん



の顔は「笑顔・笑顔」あつという間でしたが、楽しい時間を過ごせたと思います。これからも楽しんで頂けるよう職員一同いろいろな企画を立てていきます。(村瀬明美)



オンライン面会



輪中の郷では、新型コロナウイルスの感染対策として、ご家族様に面会自粛をお願いしてまいりました。が、9月よりオンライン面会(ZOOMアプリを使用)を始めました。

ご案内をするとすぐに、何名かのご希望があり早速対応させていただきました。

もともと住人さんたちの年代では、タブレットに慣れていない方がほとんどですので、画面の向こうと繋がっていることを理解していただくために、「テレビ電話」とお伝えし納得していただきました(笑)

多くの方に利用していただき、静岡など県外の方とも自宅からオンライン面会をすることもできました。また、想定をしていますが、海外に住むご家族との面会もお繋ぎすることができました。

この先も不透明な情勢が続きますが、職員一同引き続き感染対策に努めてまいりたいと思っておりますので、ご理解ご協力の程よろしくお願い致します。

(伊藤篤)

亡くなられた方々

- ・小川しめさん 七十五歳
令和二年九月十二日
- ・山田あや子さん 九十六歳
令和二年十月三日
- ・木下みさをさん 一〇〇歳
令和二年十月二十二日
- ・竹内みさ子さん 九十一歳
令和二年十一月十日

皆さんのご冥福をお祈りいたします。



**ご寄付
ありがとうございます
ございました**

9月1日〜11月30日

- ・(株)環整 代表取締役 佐野弘樹様
- ・中山自治会様
- ・木下道郎様
- ・(有)光神様
- ・中部善意銀行様
- ・渡辺重明様

編集後記

あけましておめでとうございませす。

早いもので令和も三年目になってしまいました。

昨年は、新型コロナウイルスの感染予防対策に追われ、楽しみにしていたイベントや友人と会うことも制限され、残念な思いをすることの多い年でした。きっと皆様も同じだったと思います。

そんな日々でしたが、私はちょっと良いこともありましたが、私にはちょっと良いことありません。

弥富市が冷え込んだ消費を喚起するため販売した『きんちゃん商品券』皆様は購入されましたか？私は申し込みをして購入も出来ませんでした！実は一度購入した後に、余っていると聞いたので追加購入もしちゃいました。

何故かと言うと・・・お世話になっているクルマ屋さんや『きんちゃん商品券』の参加店になったのです。ちょうど私は、そのクルマ屋さんで車の買い替えを考えていたので、こんなグッドタイミングを逃すわけにはいきません。

ありがとうございます！

十六年と少し、私を安全に運んでくれた愛車にもありがとうございます！

今はまだ納車待ちですが、今年には新しい愛車とともに走ります。夢、広がります。

ちよっとしたことだったので、周りの人に話すのも少なかったのですが、この編集後記を書くにあたり思い出していたら、なんだか楽しくなってきました。

皆様にも「ちよっと良いこと」がありますように・・・。

そして是非、身近な人に話してみましよう。

本年もどうぞよろしくお願い致します。

商品券のお得感につられ、オプションを追加してしまった私。当初の予算をオーバーしたのは内緒です(笑)

(兎)

